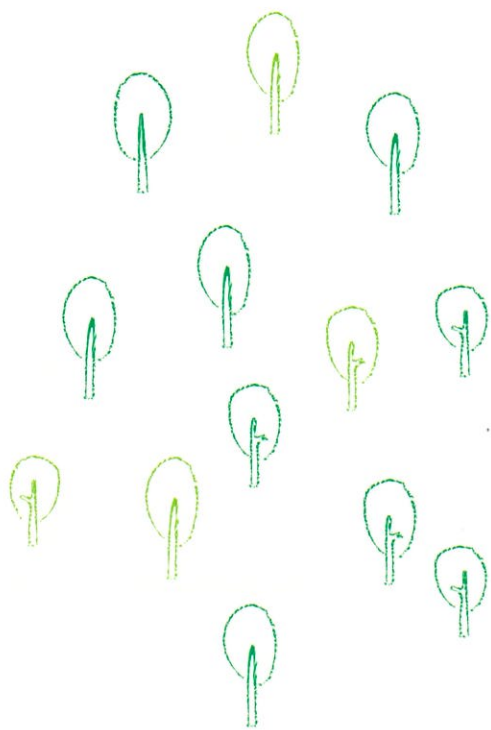




紙は文化を未来へ伝え、人と人をつなぐ。
たった一つの地球と、いつまでも続く未来へ。



株式会社 **文昌堂**

Paper links history



社 是

「個即全 全即個」

会社と社員は一体である。

社員は一人一人が成長しながら自らの責任を果たします。

会社は一人一人の人生を思いやり、成長と活躍の場をつくれます。



基本理念

Paper links history

紙は文化を未来へ伝え、人と人をつなぐ。

たった一つの地球と、いつまでも続く未来へ。

100周年を迎えるにあたり 理念の再定義を行いました。

前段は、「紙の誕生により絵や文字によって歴史や文化をつないできた、そして、先人より多くを学びこれからも紙により人と人をつないでいく」という過去への感謝とこれからの紙の可能性を示しており、文昌堂のさらなる発展を通して歴史や文化をつないでいく決意をあらわしています。

後段は、経済の発展と共に地球環境の保全が重要事項となっていますが、「紙は環境に優しい素材」である。私たちはその事を自覚し、学び、啓蒙し地球環境維持を行う覚悟を示しています。

私たちはその環境に優しい紙に寄り添い、社是「個即全 全即個」に則りこれからの100年、皆で力を合わせ、時をつないでまいります。

私たちが目指すのは「存在意義」と 紙の「トータルソリューション」です。



代表取締役会長

高橋房明

1919年(大正8年)の創業以来、当社は産業用紙の主要分野を占める板紙に主力をおき、幾多の時代的変遷の波を乗り切りつつ、業界において有数の販売会社としての地歩を築いてまいりました。現在では、ユーザーのニーズの変化に対応し、洋紙分野にも参入し、洋紙・板紙の両面でお客様に貢献出来る企業を続けております。

現在では、デジタル社会の進展による生活スタイルの変化により、紙を中心にその役割が少しずつ変化してきておりますが、一方で紙は脱プラスチックの取り組み等、用途によっては存在感を増しています。

また、環境問題については、2002年3月には環境ISO14001、2003年12月には森林認証(FSC)を取得し、環境負荷の低減を目的とした活動を進めております。

今、まさに地球にやさしい商品を取り扱うことを通じて社会貢献しながら成長を続けている企業です。

私たち文昌堂は、社是「個即全 全即個」、すなわち「会社と社員は一体であること」及び基本理念である「Paper links history」を人づくり、組織づくりの基本理念として、ユーザー、コンバーター、仕入先からも存在意義のある文昌堂と云われる様な会社を目指してまいります。

今後ともこの文昌堂に皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

紙とともに進化する、「文昌堂」。

「板紙」を原点に、新時代の事業展開。
社会に価値を提供しています。

創業以来、当社の基本姿勢は『お客さまとの共存共栄』。

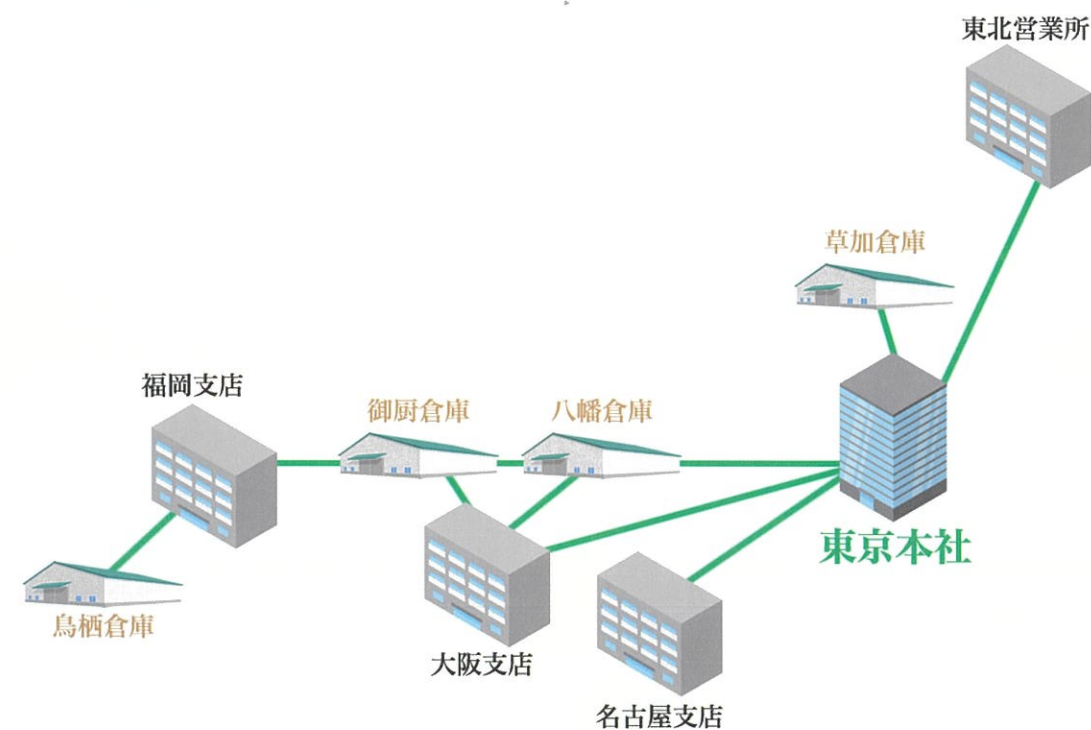
数十社に及ぶ製紙メーカーの代理店として、段ボール原紙、板紙、洋紙その他多種にわたる紙を手がけ、また最近では紙器、印刷、合成樹脂等、関連部門にも事業を拡大。ますます多様化する紙の世界で、紙の専門商社としての実績を積み重ねてまいりました。

その結果、印刷・出版・紙器業界はもとより、各界より高い評価と信頼を頂いております。そして、紙に関わるうえで忘れてはならないのが環境問題。当社は環境にやさしい製品、リサイクル製品に関しても、いち早く取り扱ってまいりました。現代はペーパーレスの時代と言われますが、紙の多様性は私たちの想像を超え、様々な分野に広がっています。そんな新しいニーズにお応えするのも私たちの仕事です。

『紙』と『人』をつなぐプロフェッショナル。それが私たち、文昌堂です。

『1枚の紙からトン単位の紙まで』。
わたしたちは、そのニーズに
敏速・正確にお応えできる体制を整えています。

時代の多様化、情報の高度化に伴って、全国各地のユーザーの皆さまから当社へのニーズにも、さらにキメ細かな対応が求められています。そこで、当社では各支店・各営業所を結ぶ最新の販売管理を主体にしたシステムを導入。全国どちらのユーザーにも、素早く正確なサービスを提供できるよう、万全の体制を整えています。またITの利点を生かしたソリューションも当社の強みです。



主な販売先

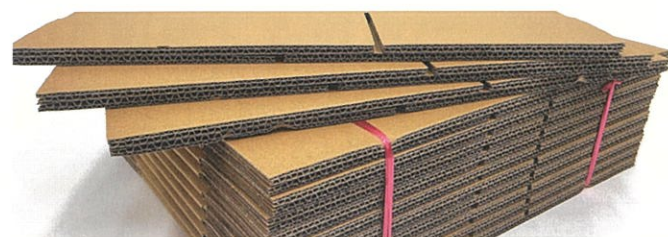
朝日印刷株式会社、浅野段ボール株式会社、株式会社伊藤段ボール工業所、株式会社岩崎書店、王子コンテナ株式会社、王子パッケージング株式会社、オカジ紙業株式会社、株式会社学研プラス、九州ダンボール株式会社、株式会社ぎょうせい、共同印刷株式会社、久門紙器工業株式会社、株式会社クラウン・パッケージ、株式会社グリーンパッケージ、ゴールド商事株式会社、興亜紙業株式会社、幸陽紙業株式会社、五洋パッケージ株式会社、株式会社サガシキ、笹徳印刷株式会社、サンメッセ株式会社、株式会社JTBパブリッシング、株式会社JALUX、株式会社小学館、株式会社世界文化社、株式会社千成工業所、株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ、大正製薬株式会社、大日本印刷株式会社、大日本パックス株式会社、大和紙工株式会社、株式会社タナパックス、中央パッケージ株式会社、東京コンテナ工業株式会社、図書印刷株式会社、凸版印刷株式会社、トッパン・フォームズ株式会社、株式会社トッパン プロスプリント、株式会社富山陽成社、株式会社内藤、日藤ダンボール株式会社、日本航空株式会社、日本紙器株式会社、株式会社博進紙器製作所、株式会社バックウェル、日之出紙器工業株式会社、株式会社福音館書店、福野段ボール工業株式会社、古林紙工株式会社、文化学園文化出版局、丸金印刷株式会社、株式会社丸三房印刷、丸中紙工株式会社、丸福株式会社、三菱商事パッケージング株式会社、ミナトパックス株式会社、ムサシ王子コンテナ株式会社、大和紙器株式会社、レンゴー株式会社、RGコンテナ株式会社、株式会社和気



「板紙」を原点に、新時代の事業展開。社会に価値を提供しています。

文昌堂ソリューション部門

新時代の物流を、技術で支える 段ボール部門



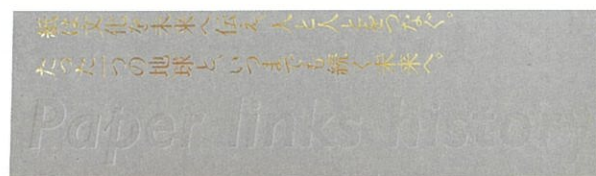
家電製品から生鮮・青果物に至るまで、商品ジャンルを問わず幅広い分野で使われている段ボール。今までは、段ボール＝梱包用の素材という、一面的なイメージでのみ捉えられがちでしたが、現在では段ボールが本来持つ「商品の保護」という基本機能に加え、ユーザーに対し商品の特性をより強くアピールするという「セールス・プロモーション機能」にも注目が集まっています。段ボールという素材の可能性を追求し、機能面はもとよりソフト面からも常に追求をおこたらず、高品質、高プロモーション効果を持つ製品を創造する。それが、段ボール部門のテーマです。

段ボール + アイデア 高セールスプロモーション製品の創造



【ライナー】 ●外装用(クラフト) ●外装用(ジュート) ●内装用
【中しん原紙】 ●パルプしん ●特しん

くらしに身近な明日を包んで 板紙部門



私たちのくらしのなかで、いちばん身近な紙ともいえるのが、板紙。食品や洗剤等の生活に身近なものから、ギフト用の特殊パッケージ、パーティー等で使われる紙製の皿やコップetc…。板紙は、ありとあらゆる生活シーンのなかで私たちと関わり続けているといっても過言ではありません。この部門は、いうなれば、あらゆる分野の商品の「顔」を創造する、商品のアイデンティティを担う部門。当社ではバラエティーゆたかな様々な包装パッケージを、原紙の段階からプランニングし、個々の製品に最も適した素材をおとどけすると共に、一方では、紙資源のリサイクルにも尽力しています。

板紙 + 創造力 美しさと実用性を兼ね備えた製品の開発



【白板紙】 ●マニラボール(塗工、非塗工) ●白ボール(塗工、非塗工)
【黄・チップ・色板紙】 ●黄板紙 ●チップボール ●色板紙

21世紀の紙文化に、やさしく貢献

洋紙部門



洋紙で造られる製品の代表といえば、なんといっても「本」。ひとくちに本といっても、辞典、雑誌、書籍等、そのカタチも目的も多種多様。当然その本の特性によって、使われる紙の種類も異なります。そこで発揮されるのが、大正8年の創業以来培われ、受け継がれてきた「プロの目」。お客様の表現ニーズに最も適した紙を、絵や写真などを含めて検討してベストチョイスし、最適な紙をおすすめすることができます。また、社会の高度情報化が進むに伴い、今後は今まで以上に豊かな表現力を持つ紙が求められるはず。当社では常に、「未来の紙」を考え続けます。

洋紙 + 表現力

内容に合わせ、表現力を高める紙の提案

(株)学研プラス
「めくって学べる
きかいのしくみ図鑑」

(株)学研プラス
「学研の図鑑LIVE
もののしくみ」

ぐりとぐら
作: なかがわ りえこ
絵: おおむら ゆりこ
出版社: 福音館書店

JTBパブリッシング発行
「るるぶ情報版 鎌倉'23」

JTBパブリッシング発行
「るるぶ情報版
ドライブ信州ベストコース」

JTBパブリッシング発行
「るるぶ情報版 東京'23」

●上質紙 ●上質微塗工紙 ●書籍用紙 ●塗工紙 ●画用紙

おすすめ商品

BSコピーシリーズ

BSコピーシリーズは、北越コーポレーション(株)のエコパルプ(=無塩素漂白パルプ~ECF法)を使用している、環境にやさしいコピー用紙です。

紙の原料である「パルプ」は、漂白過程で「塩素」が使われてきたため、環境への影響が論じられてきました。また、環境ホルモンとして疑いがもたれている物質の中には、いくつかの塩素化合物があると報じられています。

日本製紙連合会では工場排水の自主規制を掲げ、AOX(吸着性有機ハロゲン化合物)含有量を1.5kg/pulp.t以下を目標とし、平成6年にはすべての工場が目標をクリアしたと発表。現在ではそれを大きく下回る0.7kg/pulp.tを達成しています。しかし、もっと安全な漂白方法がヨーロッパを中心に推進されていることも事実です。

北越コーポレーション(株)は、新潟工場の新抄紙機の建設にあわせてヨーロッパと同様の方法を導入しました。つまり、BSコピーシリーズを使っただけで「環境にやさしい選択をすること」になるのです。



エコパルプを使用した
BSコピーシリーズ

カートカン(紙製の飲料容器)

平成16年4月、国内の間伐材や端材を有効に利用した紙製の飲料容器を普及させ、「日本の森を育むこと」の重要性を広く知ってもらおうと飲料メーカーや製造に関わる関連企業が中心となって「森を育む紙製飲料容器普及協議会」が発足しました。当社は、日本製紙と協力してその設立に参画し、カートカンの普及に取り組んでいます。紙を原料にしたカートカンは、たとえ捨てられても土に還るという利点を持っています。当社はカートカンの普及により、地球環境保護の一翼を担えると考えています。





環境方針

基本理念

株式会社文昌堂は地球環境の保全が重要な課題であることを認識し、企業活動において環境負荷の低減、環境保全と資源保護に努め、持続的発展が可能な循環型社会の形成推進に貢献する。



行動指針

1. 環境負荷低減活動の推進

当社は紙流通企業として、環境に負荷の少ない板紙を従来より取扱い商品の中心としてきたが、循環型社会形成基本理念のもと、グローバルな視点で営業活動に取り組み、環境に配慮した商品の開発・販売をより一層推進する。又オフィス内活動においては、業務の効率化等を通じて省資源、省エネルギー及び廃棄物の削減とリサイクル、ならびにグリーン購入を推進し、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努める。

2. 目的・目標の設定と継続的改善

環境目的・目標を定め、定期的見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。

3. 環境関連法規の順守

当社の環境側面に適用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。

4. 社員と当社内で働く方への周知と啓蒙活動

社員と当社内にて働く方への環境教育・啓蒙活動を推進し、環境方針の周知徹底と環境意識の向上及び環境保全活動の推進を図る。

5. 環境方針の公開

この環境方針はホームページに掲載する等広く公開する。



認証取得

FSC® の取得

株式会社文昌堂は国際的な森林管理認証制度であるFSC®の森林認証 (CoC認証) を取得しており、その要求事項を遵守します。



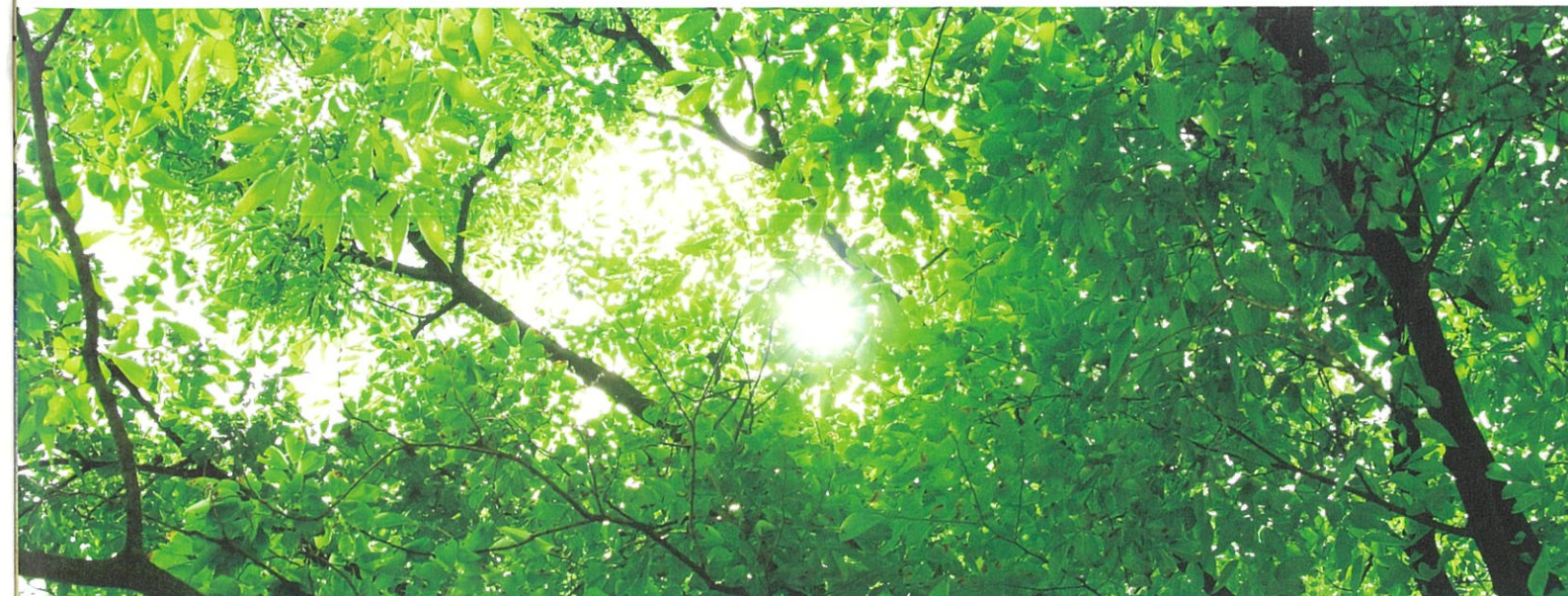
FSC® とは？

FSC® (Forest Stewardship Council® / 森林管理協議会) は、環境NPOや林業者、先住民団体など幅広い分野の代表者により、森林管理の認証における国際的基準を設けるために、1993年に設立された非営利・非政府の会員制組織です。FSC®の森林認証は、森林が環境、社会、経済面での厳しい基準を満たして管理されていることを意味します。

ISO14001 の取得

弊社は地球環境の保全が人類社会に課せられた喫緊の重要課題であるとの認識から、企業として社会的使命を荷うべく、財団法人日本規格協会の審査により、環境マネジメントシステムの国際規格でありますISO14001の認証を2002年3月に、本社及び草加倉庫において取得し、翌2003年3月に全店における拡大認証を取得いたしました。(登録番号 JSAE488)

弊社は紙流通業として、その企業活動において「環境負荷の低減に努め、環境保全と資源保護による循環型社会形成推進に貢献する」基本理念のもとに「環境方針」を制定し、環境マネジメントシステムを構築・運用してまいりました。この認証取得のもと、より環境に配慮した営業活動及び業務をあらゆる面で推進してまいります。



紙の未来を創造します。



コンプライアンス

文昌堂は、公正なる競争を通じて利潤を追求する企業体であると同時に、経済の発展に貢献し、社会にとって価値のある企業であることを目指します。
これを踏まえて、以下の5項目を行動の基本原則とする。

文昌堂行動指針

1. 公正、透明な企業活動の徹底

内外の法令及びルールを遵守し、企業倫理や社会規範を尊重し、公正で自由な企業活動に努めます。

また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関わりを持ちません。

2. 地球環境への積極的な関与

地球環境との調和を図り、環境の保全と資源の保護に努め、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

3. 社会貢献

取扱い商品・サービスの安全性と個人情報・顧客情報の保護に十分に配慮し、お取引先の満足と信頼を獲得するよう努めると共に、良き企業市民として社会貢献活動を行います。

4. 個性の尊重

従業員各個人の人権と人格、個性を尊重し、健康かつ安全で働きやすい職場環境整備に努めます。

5. コーポレートガバナンスの推進

ステークホルダーに対し適切な情報を積極的に開示し、広く社会とのコミュニケーションを図ります。

2022年4月改訂



会社概要

商号 株式会社文昌堂
設立年月日 1919年(大正8年)11月11日
資本金 2億円
代表者 代表取締役会長 高橋 房明 代表取締役社長 赤澤 清志
事業内容 板紙、段ボール原紙、洋紙、化成品などの販売

文昌堂グループ(五十音順)

- 西武紙業株式会社
- 株式会社文昌堂埼玉
- 文昌不動産株式会社

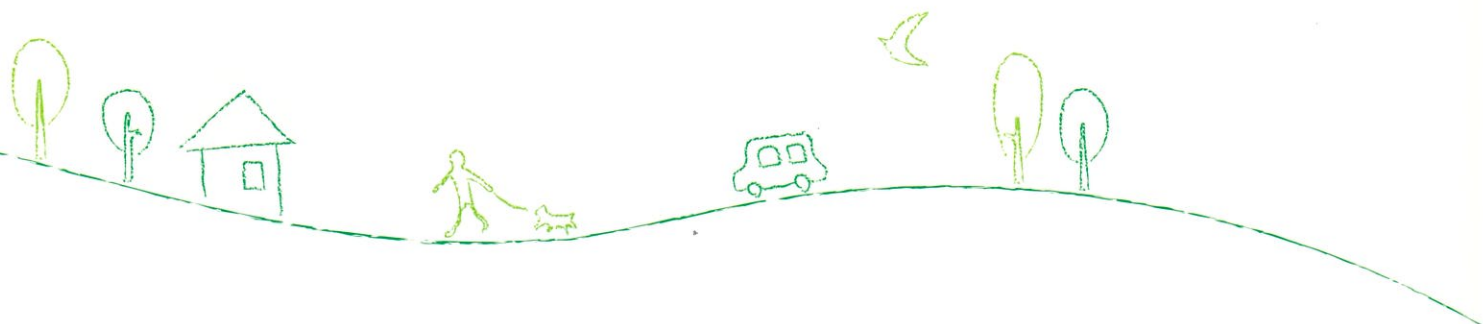


沿革

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1919年 11月 | 東京・下谷御徒町1丁目において株式会社「文昌堂洋紙店」を設立する |
| 1952年 8月 | 大阪府大阪市北区に大阪支店を開設する |
| 1956年 10月 | 愛知県名古屋市東区に名古屋支店を開設する |
| 1967年 7月 | 山形県山形市に東北営業所を開設する |
| 1975年 9月 | 商号を『株式会社文昌堂』と改称し、所在地を東京都台東区上野5丁目1番1号 |
| 1986年 10月 | 福岡県福岡市に福岡営業所を再開設する |
| 2002年 3月 | ISO14001環境マネジメントシステム審査登録 |
| 2003年 12月 | CoC認証取得 |
| 2012年 4月 | 福岡営業所を福岡支店に昇格 |
| 2019年 6月 | 草加倉庫改修工事完了 |
| 11月 | 創業100年を迎える |

株式会社 文昌堂

Paper links history



東京本社

〒110-8532
東京都台東区上野5丁目1番1号
電話(03)3836-1151(代)
FAX(03)3836-9105

大阪支店

〒530-0042
大阪府大阪市北区天満橋1丁目3番5号
電話(06)6352-1251(代)
FAX(06)6352-1258

名古屋支店

〒461-0002
愛知県名古屋市東区代官町39番17号
電話(052)935-2661(代)
FAX(052)935-2667

福岡支店

〒812-0016
福岡県福岡市博多区
博多駅南1丁目3番11号
電話(092)432-9522(代)
FAX(092)432-9523

東北営業所

〒990-0071
山形県山形市流通センター 1丁目5番地5
電話(023)633-2501(代)
FAX(023)633-2723

草加倉庫

〒340-0004
埼玉県草加市弁天4丁目24番38号
電話(048)935-9110・9554
FAX(048)935-9112

御厨倉庫

〒577-0032
大阪府東大阪市御厨6丁目10番16号
電話(06)6782-3731
FAX(06)6782-3732

八幡倉庫

〒614-8161
京都府八幡市上奈良宮ノ東29-1
電話(075)981-7548

鳥栖倉庫

〒841-0066
佐賀県鳥栖市儀徳町浦田3276
電話(0942)84-1261



<https://www.bun-sho-do.co.jp>